

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

022	1005	事務事業名	奨学金支給事務	細事務事業名		公的関与	9						
課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkoyoiku@city.toon.ehime.jp						
事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	38年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	2 学校教育の充実	主要施策								
事業の対象	東温市立中学校の最高学年に在学し、学校教育法第1条に規定する高等学校等に進学が見込まれる方、または、高等学校等に在学している方			根拠法令	東温市奨学金運用規則								
事業の目的	最終的	成績優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な方に対し、高等学校等の正規の修学期間中、月額10,000円を付与します。		今年度	新規認定2人を含め、6人に付与しています。								
活動内容	奨学金運用委員会により、応募のあった方の中から奨学生の選考を行います。												
	年間4期に分けて奨学金を支払います。												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	奨学金支給認定人数		受益人数		人	目標 6	6	7					
						実績 6	6						
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費					
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	72千円	72千円	84千円									
	計(A)	72千円	720千円	840千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.007人	52千円	0.007人	53千円	0.007人	53千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		124千円	773千円	893千円									
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	中等教育を受ける機会の確保に寄与するものとして、必要性があると考えています。近隣自治体と比較した場合、本市の制度は、返済義務がないためです。												
有効性	成績優秀で学習意欲がありながら、経済的に厳しい家庭の生徒が対象であることから、月額10,000円の付与は、有効性があると考えています。												
達成度	条例、規則の趣旨に則った奨学生の選考ができています。												
効率性	奇質な市民の寄附金が原資であり、基金が底をついた場合、一般会計への計上、または返済の義務化といった、制度維持のための検討が必要です。												
当面の課題	認定の継続と基金残高とのバランスが課題となります。												
改革計画	制度を維持することを前提に、返済の義務化、定員の明確化等に関して条例・規則改正の検討を行うことや、返済を義務化しない場合は、一般財源からの支出により運営するなどといった検討を行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	基金運用の目的を達成するために、適切な奨学生の決定に努めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

022	1015	事務事業名	ハートなんでも相談員設置事業（小学校）		細事務事業名			公的関与	4				
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkoyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	19年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(3)心の問題への対応				
	事業の対象	児童、保護者、教員等			根拠法令	ハートなんでも相談員設置事業実施要綱							
	事業の目的	最終的	児童、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に資することを目的とします。			今年度	北吉井小学校2人、南吉井小学校1人、川上小学校1人の計4人を配置しています。						
	活動内容	1校あたり、1日4時間、年間200日を限度に配置計画を立て、相談業務にあたります。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		勤務日数		教育相談や指導の成果は相談勤務日数に比例します。		日	目標 600	600	600				
							実績 550	556					
							目標						
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	420 千円	420 千円	420 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,920 千円	1,497 千円	1,731 千円								
	計(A)	2,340 千円	1,917 千円	2,151 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.014 人	104 千円	0.014 人	106 千円	0.014 人	106 千円					
臨時職員工数・経費		1.667 人	2,852 千円	1.667 人	2,852 千円	1.667 人	2,837 千円						
全体事業費(A+B)		5,296 千円		4,875 千円		5,094 千円							
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	児童の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は必要です。												
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあるものと考えます。												
達成度	限られた日数、予算の中で、配置校において効率よく活用されていると考えます。												
効率性	限られた日数、予算の中で、配置校において効率よく活用されていると考えます。												
当面の課題	市内小学校7校のうち、児童数500人以上の小学校3校を配置対象としていますが、残り4校に配置の必要が生じた場合の対応を考える必要があります。												
改画	増員が困難と判断された場合、拠点校、兼務校を設定する等、現在の人員による対応を検討します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	規模の大小を問わず教職員の体制で出来る限りの対応やケアを遂行し、支援を特別に要する児童を含めた学級・学校運営を前提に、実態に応じた配置を行ってください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

022	1017	事務事業名	ハートなんでも相談員設置事業(中学校)		細事務事業名				公的関与	4			
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkoyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	19年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(3)心の問題への対応				
	事業の対象	生徒、保護者、教員等				根拠法令	ハートなんでも相談員設置事業実施要綱						
	事業の目的	最終的	生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に資することを目的とします。				今年度	重信中学校1人、川内中学校2人の計3人を配置しています。					
	活動内容	1校あたり、1日4時間、年間200日を限度に配置計画を立て、相談業務にあたります。											
		ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー3者の情報交換会を実施します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		勤務日数		教育相談や指導の成果は相談勤務日数に比例します。			日	目標	400	400	400		
						実績	394	375					
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,920千円	1,330千円	1,434千円								
	計(A)	1,920千円	1,330千円	1,434千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.014人	104千円	0.014人	106千円	0.014人	106千円					
		臨時職員工数・経費	0.833人	1,425千円	0.833人	1,425千円	0.833人	1,418千円					
	全体事業費(A+B)		3,449千円		2,861千円		2,957千円						
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	生徒の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は必要です。												
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあると考えます。												
達成度	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。												
効率性	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。												
当面の課題	中学校には、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーも配置していますが、情報の共有、連携の面が課題と考えます。												
改革計画	平成20年度から開始したハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー3者の情報交換会を実施を計画します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	具体的対応事例を軸として現実的な情報交換と連携対応が進んでいる。更に早期対応について推進してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

022	1019	事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業(県委託事業)	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkoyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	20年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(3)心の問題への対応				
	事業の対象	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、問題を抱えた児童生徒や保護者、関係する教職員、福祉機関職員等			根拠法令	スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領							
	事業の目的	最終的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、問題を抱えた児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒の支援を行うことを目的とします。			今年度	重信中学校に1人配置しています。また、場合により他校の事案にもあたることとしています。						
	活動内容	1日4時間、年間105日を限度に勤務計画を立て、業務にあたります。											
		家庭訪問、電話相談、学校での情報交換などを行っています。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		活動日数		教育相談や指導の成果は活動日数に比例します。		日	目標	105	105	105			
実績							105	105					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
		国・県支出金		556 千円	441 千円	441 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		10 千円	10 千円	10 千円							
	計(A)		566 千円	451 千円	451 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.030 人 227 千円	0.030 人 226 千円							
		臨時職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.219 人 375 千円	0.219 人 373 千円							
	全体事業費(A+B)		566 千円		1,052 千円	1,050 千円							
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	生徒の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は、必要と考えます。												
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員を配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあると考えます。												
達成度	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます												
効率性	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。												
当面の課題	昼夜を問わない対応が必要なケースがあります。中学校には、スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員も配置していますが、これら相談関係者と教職員間の情報共有、連携を強めることが必要と考えます。												
改革計画	平成20年度から開始した、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー3者の情報交換会を計画します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	実践的・現実的に積極的な関わり方による対応を心がけ、また、関係機関との連携の主軸となり、児童・生徒の復帰すべき学校の積極的な関わり方についても指導を推進してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

022	1022	事務事業名	外国語指導助手派遣事業	細事務事業名		公的関与	7						
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	6年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(2) 生きる力の育成を重視した教育活動の充実				
	事業の対象	主として中学校における外国語活動、小学校外国語活動				根拠法令	「語学指導等を行う外国青年招致事業」募集要項						
	事業の目的	最終的	外国語教育の充実、国際交流の発展を図ることを目的としています。			今年度	重信中学校には、(財)自治体国際化協会が行う「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致した外国語指導助手、川内中学校には、市が直接任用した外国語指導助手を配置しています。なお、重信中学校で、任期満了に伴う外国語指導助手の交替が8月にあります。						
	活動内容	中学校(小学校)における外国語授業の補助を行います。											
		外国語教材作成の補助を行います。											
		英語担当教員に対する現職研修の補助に従事します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
				業務の性格上、指標設定になじまないと判断します。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	8,794千円	8,828千円	9,881千円								
	計(A)	8,794千円	8,828千円	9,881千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.047人	349千円	0.047人	355千円	0.047人	354千円					
		臨時職員工数・経費	0.475人	813千円	0.475人	813千円	0.475人	808千円					
	全体事業費(A+B)	9,956千円		9,996千円		11,044千円							
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	平成23年度の新学習指導要領完全実施に向けて外国語指導助手配置の必要性は、ますます高まると考えます。												
有効性	現在、(財)自治体国際化協会が行う「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致した外国語指導助手と、市が直接任用している外国語指導助手がいます。												
達成度	中学校での外国語指導助手の活用については定着しています。小学校においても定着しつつあるものの、研究の余地はあります。												
効率性	研修等人事管理と事業に係る経費のバランスの観点から、民間会社による外国語指導助手派遣の利用も選択肢の一つとして検討する必要があります。												
当面の課題	学校における活用方法の研究が課題です。												
改革計画	人材活用の面において、特に小学校において、教員が主体性を持って外国語活動の授業を実施するための研究・実践を行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	継続して配置する必要があるが、新学習指導要領の「外国語活動」の内容に即した授業の展開が出来るように教員のスキルアップを推進してください。												